



## 平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成28年11月10日

上場会社名 ケミプロ化成株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4960 URL <http://www.chemipro.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 福岡 直彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長管理本部長 (氏名) 兼俊 寿志 TEL 078 (393) 2524  
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日 配当支払開始予定日 平成一年一月一日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第2四半期の業績（平成28年4月1日～平成28年9月30日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	4,546	0.7	271	180.7	233	384.4	116	266.1
28年3月期第2四半期	4,516	9.3	96	70.8	48	-	31	757.0

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	7.10	-
28年3月期第2四半期	1.94	-

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	13,630	4,016	29.5	245.12
28年3月期	13,832	3,938	28.5	240.68

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 4,016百万円 28年3月期 3,938百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	-	0.00	-	2.50	2.50
29年3月期	-	0.00	-	-	-
29年3月期(予想)	-	-	-	2.50	2.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成29年3月期の業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,200	△0.1	400	75.7	300	164.7	180	10.0	10.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期2Q	16,623,613株	28年3月期	16,623,613株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	238,902株	28年3月期	257,662株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期2Q	16,372,847株	28年3月期2Q	16,366,642株

- (注) 1. 期末自己株式数には、信託が所有する当社株式(当第2四半期累計期間178,200株)を加算しております。  
2. 期中平均株式数(四半期累計)は、自己名義所有株式分を控除する他、信託が保有する自己株式(当第2四半期累計期間190,642株)を控除し算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続を実施中であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	4
4. 四半期財務諸表 .....	5
(1) 四半期貸借対照表 .....	5
(2) 四半期損益計算書 .....	7
第2四半期累計期間 .....	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における世界経済は、米国経済が緩やかな拡大基調を維持しつつも世界経済の様々な流動的要因等から、主要指標は弱含んで推移いたしました。加えて、欧州経済についても回復テンポは漸進的ではありますが、英国のEU離脱に関わる今後の影響等も考えれば不透明な状況に変化はありません。一方、新興国では中国において民間投資についても減少傾向となり、景気の減速感に変化なく、その他新興国経済も全体として引き続き不安定な状況で推移いたしました。このように、世界経済全体としては、米国・欧州が堅調さを維持しているものの、今後の動向が流動的で、新興国の状況も加味すれば、全体としては予断を許さない状況が続いております。

一方で日本経済は、雇用・所得情勢が堅調に推移し、個人消費も底打ち感が出てきたものの、依然として踊り場の状況にあり、世界経済の影響も勘案すれば、まだまだ安心できる状況にはありません。

このように国内外経済が推移する中で、当社の属するフラインケミカル業界は、昨年来の原材料価格の安定化等による好環境は継続しているものの、為替動向が不安定である上にグローバルな販売価格競争も緩和されず、収益環境全般の状況に変化はありません。当然ながら、当社も同様の環境に置かれておりますが、売上高については、グローバルな生産状況を背景とした需給バランスの変化による紫外線吸収剤の増収に支えられ、前年と同水準で推移しております。一方で、当社の主力マーケットである欧州自動車産業は、英国のEU離脱影響等、懸案事項を多く抱えており、当社の経営環境についても引き続き予断を許さない状況であります。

このような状況の下、当社の当第2四半期累計期間における業績は、化学品事業では主力製品である紫外線吸収剤の販売数量増加を主要因とした売上高増加に支えられ、写真薬中間体他の各製品は減収となりましたが、全体では増収となりました。また、ホーム産業事業は、ほぼ前年と同水準の売上高で着地し、売上高全体では、前年同四半期比29百万円増加の4,546百万円(前年同四半期比0.7%増)となりました。利益面は、グローバルな販売価格競争の継続はあるものの、利益率の高い製品の売上高増加や原材料価格の落ち着きなどから営業利益は271百万円(同180.7%増)、経常利益も生産休止費用が16百万円と前年同四半期比7百万円減少したこともあり233百万円(同384.4%増)となりました。税引前四半期純利益につきましては、平成28年9月に発生いたしました姫路工場における小規模な火災事故に伴う損失48百万円を事故対策費として特別損失に計上した結果、184百万円となりました。四半期純利益につきましては、法人税等が41百万円となったことに加えて法人税等調整額が26百万円となったことから116百万円(同266.1%増)となりました。なお、当社で加入している企業総合保険・企業総合補償保険の付保による上記火災事故にかかわる保険金の受取金額については、現時点で確定していないため計上しておりません。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

## (化学品事業)

当第2四半期累計期間の売上高は、主力製品である紫外線吸収剤が販売数量増加等を主要因として売上高が前年同四半期比271百万円増の3,017百万円(前年同四半期比9.9%増)となる一方で、酸化防止剤が同71百万円減の147百万円(同32.5%減)、受託製品などを含むその他で同56百万円減の621百万円(同8.3%減)、写真薬中間体が同50百万円減の48百万円(同50.6%減)等となりましたが、全体では同28百万円増の3,985百万円(同0.7%増)で着地いたしました。

## (ホーム産業事業)

当第2四半期累計期間の売上高は、新規商材による若干の増収寄与もありましたが、木材保存薬剤の売上高が前年同四半期比15百万円増の483百万円(前年同四半期比3.3%増)で着地し、全体では微増の560百万円(同0.2%増)にとどまりました。

(品目別販売実績)

(単位:千円,%)

セグメント別	期別	前第2四半期累計期間 平成28年3月期		当第2四半期累計期間 平成29年3月期		増減
	区分	金額	構成比	金額	構成比	金額
化学品事業	紫外線吸収剤	2,745,795	60.8	3,017,584	66.4	271,789
	写真薬中間体	99,054	2.2	48,951	1.1	△ 50,103
	製紙用薬剤	119,029	2.6	94,507	2.1	△ 24,522
	酸化防止剤	219,140	4.9	147,951	3.3	△ 71,189
	電子材料	96,403	2.1	55,516	1.2	△ 40,887
	その他	677,686	15.0	621,407	13.7	△ 56,279
	(小計)	3,957,107	87.6	3,985,916	87.7	28,810
ホーム産業事業	木材保存薬剤	467,979	10.4	483,443	10.6	15,464
	その他	91,328	2.0	76,821	1.7	△ 14,507
	(小計)	559,307	12.4	560,264	12.3	957
合計		4,516,414	100.0	4,546,180	100.0	29,767

(注) 金額は、消費税等を含んでおりません。

## (2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期末(以下「当四半期末」という)の総資産は、前事業年度末(以下「前期末」という)比202百万円減少し、13,630百万円となりました。流動資産は同269百万円減の8,371百万円、固定資産は同67百万円増の5,259百万円となりました。

流動資産の減少の主な要因は、現金及び預金が290百万円、受取手形及び売掛金が155百万円減少した一方で、たな卸資産が156百万円、その他の流動資産が16百万円増加したことなどによるものであり、固定資産の増加要因は、有形固定資産が69百万円増加し、投資有価証券が1百万円減少したことによるものであります。

当四半期末の負債は、前期末比279百万円減少し、9,614百万円となりました。流動負債は同93百万円増の7,413百万円、固定負債は同372百万円減の2,200百万円となりました。

流動負債の増加の主な要因は、支払手形及び買掛金が108百万円、その他の流動負債が170百万円増加した一方で、1年内返済予定の長期借入金が86百万円、1年内償還予定の社債が100百万円減少したことなどによるものであり、固定負債の減少の主な要因は、長期借入金が447百万円減少した一方で、その他の固定負債が59百万円、退職給付引当金が18百万円増加したことなどによるものであります。

当四半期末の純資産は、前期末比77百万円増加し4,016百万円となりました。主な要因は、四半期純利益を116百万円計上したことに加え、自己株式が3百万円減少した一方で配当金の支払41百万円があったことによるものであります。この結果、自己資本比率は29.5%となりました。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期第2四半期累計期間業績が、平成28年5月13日の平成28年3月期決算発表時に開示した平成29年3月期第2四半期累計期間の業績予想を利益面で相応に上回ったこと等から、平成29年3月期通期業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日(11月10日)開示いたしました「平成29年3月期第2四半期累計期間業績予想と実績の差異及び平成29年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

当第2四半期累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当第2四半期累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる当第2四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益への影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,372,700	3,082,616
受取手形及び売掛金	2,218,974	2,063,496
商品及び製品	2,138,515	2,241,101
仕掛品	108,858	93,045
原材料及び貯蔵品	596,579	665,853
その他	219,839	236,533
貸倒引当金	△14,684	△11,516
流動資産合計	8,640,782	8,371,128
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,087,445	1,078,834
土地	2,870,604	2,870,604
その他(純額)	1,007,782	1,086,175
有形固定資産合計	4,965,832	5,035,614
無形固定資産	13,882	14,509
投資その他の資産		
投資有価証券	104,398	103,029
その他	125,320	123,597
貸倒引当金	△17,434	△17,252
投資その他の資産合計	212,284	209,374
固定資産合計	5,192,000	5,259,498
資産合計	13,832,783	13,630,627

(単位:千円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成28年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,497,136	1,605,193
短期借入金	3,900,000	3,900,000
1年内償還予定の社債	100,000	—
1年内返済予定の長期借入金	1,048,740	962,240
未払法人税等	61,809	56,066
賞与引当金	83,925	91,027
その他	628,871	799,411
流動負債合計	7,320,483	7,413,939
固定負債		
長期借入金	1,732,260	1,285,240
退職給付引当金	365,913	384,896
株式給付引当金	7,986	3,993
その他	467,163	526,339
固定負債合計	2,573,322	2,200,468
負債合計	9,893,805	9,614,407
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,155,352	2,155,352
資本剰余金	1,052,562	1,052,562
利益剰余金	761,346	836,140
自己株式	△54,506	△50,762
株主資本合計	3,914,755	3,993,293
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	24,221	22,926
評価・換算差額等合計	24,221	22,926
純資産合計	3,938,977	4,016,220
負債純資産合計	13,832,783	13,630,627



(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	4,516,414	4,546,180
売上原価	3,797,071	3,737,852
売上総利益	719,342	808,328
販売費及び一般管理費	622,677	536,983
営業利益	96,665	271,344
営業外収益		
受取利息	82	11
受取配当金	2,115	2,187
受取賃貸料	2,820	9,840
補助金収入	9,462	5,430
還付事業税等	12,489	—
その他	4,512	10,330
営業外収益合計	31,482	27,799
営業外費用		
支払利息	49,084	40,344
生産休止費用	23,145	16,048
賃貸収入原価	148	7,063
その他	7,550	2,101
営業外費用合計	79,930	65,558
経常利益	48,217	233,586
特別利益		
国庫補助金	310,000	—
特別利益合計	310,000	—
特別損失		
固定資産除却損	0	379
固定資産圧縮損	309,904	—
事故対策費	—	48,523
特別損失合計	309,904	48,902
税引前四半期純利益	48,313	184,684
法人税、住民税及び事業税	16,576	41,980
法人税等調整額	—	26,499
法人税等合計	16,576	68,480
四半期純利益	31,737	116,203

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。